



京都市立芸術大学  
日本伝統音楽研究センター

令和8年度

# でんおん 連続講座

事前申込制

〈全4回〉9/1・9/8・9/15・9/22

いずれも火曜日 スケジュール詳細は裏面をご確認ください。

各回 午後2時45分～午後4時15分

\*開場は開始時間の30分前

錦絵〈深野座「音菊天竺徳兵衛」の座頭徳市(五世尾上菊五郎)部分  
1891年 三世歌川国貞/木版 2枚組  
(竹内有一 所蔵)

# 洋楽流入史再考あれこれ

文化14年のピアノ奏図、長崎出島の奏楽状況など

定員 30名

受講料 5,000円  
(全4回分/テキスト代込)

講師 竹内 有一

京都市立芸術大学  
日本伝統音楽研究センター教授

会場 京都市立芸術大学 伝音セミナールーム  
京都市下京区下之町 57-1 \*京都駅より徒歩6分

フェートン号事件から間もない時期の長崎出島に、商館長ブロンホフは新婚の夫人を帯同します。

“あつてはならない”外国女性の出島滞在。すぐさま長崎版画などに描かれて知れ渡ったこの夫人、実は日本に初めて「フォルテピアノ」をもたらした人物でもあります。

今回の連続講座では、2023年度に長崎島で購入した新出資料(ブロンホフの家族たちとビールマン夫人)(ピアノ奏図)をはじめ、西洋音楽史・日本音楽史の研究者により2008年まで活動を続けた「洋楽流入史研究会」の多彩な研究テーマを再考します。

江戸時代の日本人が多種多様な異国の音楽芸能をどのように聴いていたのか、どう理解していたのか、その社会的・文化的背景と歴史資料を紐解きながら、好奇心をもって楽しんでみましょう。



〈ブロンホフの家族たちとビールマン夫人〉部分  
1817～1822頃 作者不詳/絹本着色  
(長崎歴史文化博物館 所蔵)

## 参加方法

講座案内ページに設置する専用申込フォームよりご応募ください。

2026年7/28(火)10:00～受付開始〈WEB申込のみ/先着順〉

※8月13日(木)17:00 募集終了予定(ただし定員に達した時点で受付を終了します。)

講座案内  
(大学ウェブサイト)

▶ <https://www.kcua.ac.jp/denonrenzoku2026yogaku/> ◀



- 所定のWEBサイトから1名ごとに受付ます。WEB以外の申込は一切受け付けません。
- 未就学児童の参加はご遠慮ください。
- 重複の申込は無効とします。
- 受講料(5,000円/テキスト代込)は、初回受付時に一括で徴収します。
- 申込時にご提供いただく個人情報、本講座にかかる目的以外では使用せず、1か月を目途に廃棄します。

企画 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター(竹内有一) <https://rijtm.kcua.ac.jp>

主催 京都市立芸術大学 <https://www.kcua.ac.jp>

問合せ 京都市立芸術大学事務局 共創テラス・連携推進課

TEL 075-585-2006(平日8:30～17:15) E-mail [public@kcua.ac.jp](mailto:public@kcua.ac.jp)

京都市立芸術大学  
Kyoto City University of Arts





京都市立芸術大学  
日本伝統音楽研究センター

令和8年度 **でんおん**  
**連続講座**

**事前申込制**

\*申込方法はおもて面の記載を  
ご参照ください

# 洋楽流入史 再考あれこれ

— 文化14年のピアノ奏図、長崎出島の奏楽状況など —

**〈全4回〉**

\*いずれの回も午後2時45分開始です。  
(開場は開始30分前/午後4時15分終了予定)

\*各回の内容は、都合等により変更する場合があります。

第1回 9月1日(火)

第2回 9月8日(火)

長崎出島から流入した  
楽器・音楽

長崎を定期的に訪れるオランダ船がもたらした多くのモノと情報は、江戸期日本の諸文化に様々な影響を及ぼしました。京都祇園祭の山鉾を飾る懸装品もその一つです。

楽器についていえば、浮世絵や歌舞伎を通じて最もよく見聞された外来楽器は、木琴とトライアングルだったと考えられます。有力大名に献上された、からくり仕掛けの自動演奏楽器は、見世物小屋に渡って異国情調を放ちました。長崎出島では、ピアノやオベレッタを見聞きした日本人もいました。いったい誰が、どのような音色・旋律・リズムを、どのような思いで聞いていたのでしょうか。



錦絵(中村座「御名残押絵交張」の崑崙坊(初世中村芝翫)  
1891年 三世歌川国貞/木版(竹内有一 所蔵)

第3回 9月15日(火)

中国音楽の流行と受容

江戸期日本人の広範な世界観に則り、「洋楽流入史研究会」における「洋」とは、西洋のみならず東洋を含む概念でもありました。

長崎には様々な中国文化が流入し、清楽の流行も生じました。清楽「九連環」は振付や衣裳を含めた芸能としてブームを起こし、そこから「カンカンノウ」「法界節」へと転化していきます。

第4回 9月22日(火・祝)

外国語の「響き」から

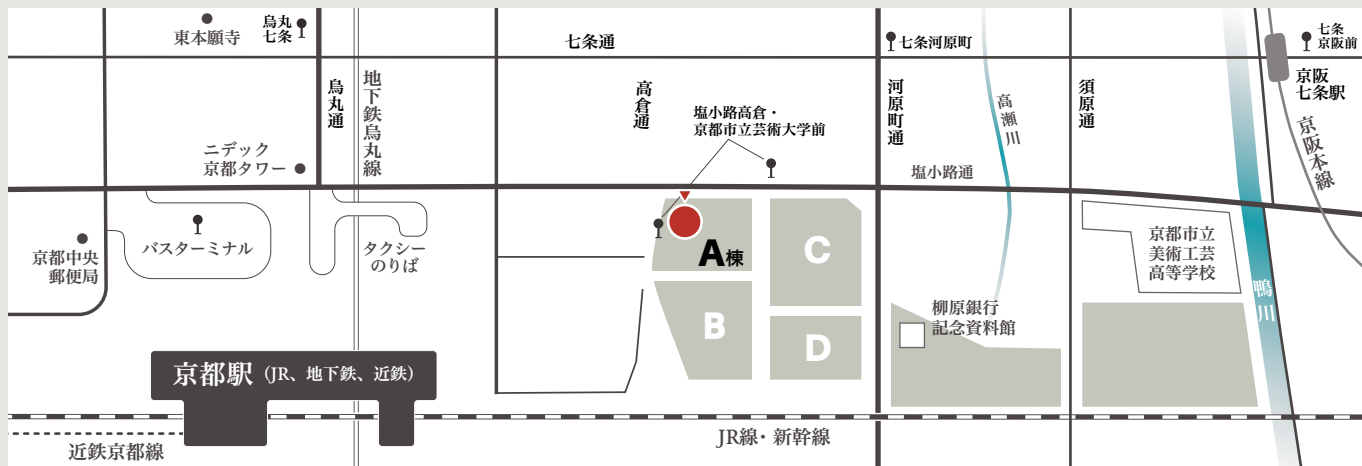
日本語には、外国語の「響き」を移した外来語がたくさんあります。中国や西洋の言語の響きを芸能や音楽に移して享受、再構成してしまう感性と現象にも着目してみましょう。

人形浄瑠璃(のちに歌舞伎化)「国性爺合戦」では、平戸浜に上陸した中国女性が「なむきやらちよんのとらやあやあ」と声をかけるので、居合わせた日本人はびっくり仰天。三味線音楽と歌舞伎を中心に様々な事例を探索します。

会場 **京都市立芸術大学**  
伝音セミナールーム

京都市下京区下之町57-1 A棟1階

- ・地下鉄烏丸線・JR各線・近鉄京都線「京都」駅下車、JR京都駅中央口から徒歩6分
- ・京阪電車「七条」駅下車 徒歩10分
- ・市バス4・7・16・81・205・南5号系統「塩小路 高倉・京都市立芸術大学前」下車すぐ



- ◇ 構内に駐車場はございません。各種公共交通機関をご利用のうえご来場願います。
- ◇ ご来場方法や座席等について特別な配慮を必要とされる方は、開催日の5日前までに共創テラス・連携推進課までご相談ください。ご希望に沿うよう可能な限り対応いたします。